

移住定住を支援する総合窓口を設置



4月1日から、移住定住相談の総合窓口として「恵那暮らしサポートセンター」を設置。田舎暮らしの課題や移住者の困りごとなどの支援や助言を行います。事務局には、地域おこし協力隊の須原由里加さんを迎えました。

やまおか交流広場の完成を祝う



社会資本整備総合交付金事業で整備されたやまおか交流広場で、3月31日、広場周辺整備の完成を祝うやまおか夢交流フェスタを開催。約800人の参加者は、餅投げや、新しい図書室での読み聞かせと手品を楽しみました。

日本一のクリ園目指し283本の苗を植樹



4月6日、中野方町のグリーンピア恵那跡地で、約80人がクリの苗を植樹。3年目のことしは、クリ園の約1畝に「筑波」「丹沢」「ぼろたん」を283本植えました。平成29年には、クリ園の総面積が20畝になる予定です。

オーストラリア派遣への抱負を語る



市国際交流協会主催の中学生海外派遣事業の開会式と第1回事前研修会が、4月3日、市消防防災センターで開催。市内の中学校から選ばれた20人は、オーストラリアでのホームステイに向け一人ずつ抱負を語りました。



人とまち
恵那の今を
お届けします



ノルディックウォークで三森山を登る
4月14日、農村景観日本一の富田地区からその上流にある三森山を登る「三森山ウォーキング」が開催され、約200人が参加しました。
この日は好天に恵まれ、ふるさと富田会館などをスタートした参加者は、標高1100mの三森山へのウォーキングや、今はやりのノルディックウォークを体験して汗を流しました。ゴールでは、みそ汁の無料配布や餅投げも行われ、参加者はおいしいみそ汁で疲れを癒やしていました。

募集中

6月に1歳の誕生日を迎えるお子さんの写真を募集します。写真(なるべく1人で胸から上で顔全体が写っているもの)の裏に住所、氏名(ふりがな)、生年月日、性別、電話番号、両親の氏名、30字以内のコメントを添えて、5月15日(木)までに申し込んでください。またケーブルテレビ放映の可否についてもご記入ください。申し込み多数の場合は先着順により掲載します。

□申し込み・問い合わせ
〒509-7292(住所不要)
企画課広報係
☎26-2111(内線319)

博士さん・由香利さん
強くて優しい心を持つてほしいな♡

武並町
嶋崎 翔馬くん

圭太郎さん・佳子さん
いっぱい笑顔がありがとう♡すくすく元気に大きくなあれ♪

武並町
鈴木 康介くん

大助さん・聖湖さん
一歳おめでとー☆練仁の笑顔で家族みんなが笑顔だよ♡

武並町
小栗 練仁くん

孝さん・真田美さん
一歳おめでとー☆お兄ちゃんに負けないくらい大きく育ってね☆

岩村町
原 宗寿くん

邦総さん・麻美さん
生まれてきてくれてありがとう♡葵君の笑顔は最高だよ♡

長島町
酒井 葵くん

弘幸さん・麻里さん
一歳おめでとー☆お姉ちゃんたちに負けないよう力強く育ってね!

東野
松浦 寿樹くん

和恩さん・芳子さん
一歳おめでとー！いっぱい食べて大きくなっ

大井町
丸山 彩葉ちゃん

英樹さん・里末さん
一歳おめでとー。元気に大きくなっ

明智町
丹羽 結菜ちゃん

登美雄さん・美樹さん
いつも笑顔がありがとう♡一歳おめでとー！

大井町
後藤 光我くん

勇介さん・友里菜さん
怜示一歳おめでとー！これからも元氣いっぱい成長してね！

長島町
土岐 怜示くん

慎悟さん・泰江さん
一歳おめでとー。優しい子に育ってね！

長島町
山崎 叶人くん

真祐さん・未佳さん
誕生日おめでとー、あき♡三姉妹仲良くね♡大好きだよ♡

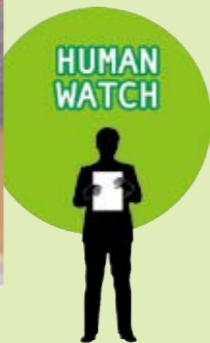
大井町
矢頭 杏月ちゃん

HAPPY BIRTHDAY
えなの子 笑顔!
5月生まれのお誕生日
おめでとう!





輝く 103
 長島町久須見
 町野正子さん 67歳



女性の目線で有事への備えを伝える 紙芝居で防災を啓発

「周りの人たちに支えられてここまで活動できた」と話してくれたのは、市女性消防隊長の町野正子さん。

町野さんは、平成19年4月に市女性消防隊が発足したときから隊長を務めている。平成19年10月25日に横浜市で開催された全国女性消防操法大会に市女性消防隊が出場することになり、女性防火クラブで活動していた町野さんに声が掛かった。「当時は縁の下の力持ちになれれば良い」という気持ちで入隊した。

22人で発足した隊の隊員は、大会までの約半年間、週3日のペースで夜間に過酷な練習を行った。その結果、各都道府県を代表して参加した47隊の中で、100点満点中98点の最高点を獲得し、見事優勝。県知事から特別感謝状と県民栄誉賞を授与された。「みんなが力を一つに合わせた結果、優勝できたので本当に興奮しました」と振り返る。

しかし、大会優勝後は、火事の現

場に行くわけではない自分たちが何をしたらよいかと悩んでいた。そんなとき、毎年、日本各地で開催されている全国女性消防団活性化大会に参加。他県の女性消防団の活動を聞くうちに手掛かりを得た。紙芝居による防災の啓発だ。早速、全国的女性消防隊から助言をもらいながら紙芝居を作成。昨年から保育園児や小学生らを対象に防災の啓発を始めた。

東日本大震災の後は、どの地域でも防災に対する意識が一層高まっている。こうした女性ならではの防災の啓発も重要性を増す。「もっと隊員を増やし、指差しによる火元確認など、日ごろから身近にできる防火活動や災害時の炊き出しなど、女性の目線で有事への備えを話していきたい」と抱負を語る。

人と人のつながりを大切にしながら、いざという時に何をすべきか伝えるため、今後も地域での防災の啓発を続けていく。

大井小 1年生43人が全校生徒と初対面



大井小学校で4月12日、1年生43人は1年生を迎える会で全校児童に初めて対面。全員でゲームを楽しんだ後、1年生は6年生から歓迎の言葉が書かれたペンダントをプレゼントされ、うれしそうに眺めていました。

地域の案内役から上矢作の良さを学ぶ



4月16日、上矢作小学校では地域の方の案内で、町内の文化財や観光資源を巡り地元の良さを学びました。3、4年生は松並木やおおぶね神社、弁慶スギ、風力発電所を訪れ、案内役の説明をメモを取りながら聞いていました。

2,708人が健脚を競った恵那峡ハーフマラソン



4月21日、第12回恵那峡ハーフマラソンが開催され、過去最多の2,708人が参加。恵那スケート場を発着点にランナーは、ハーフマラソンや3キロロードレース、3キロジョギングで恵那の丘陵地を駆け健脚を競いました。

※コミセン＝コミュニティセンターの略

大正村で着物姿のモガ・モボコンテスト



4月7日、大正村で第4回きものin大正村が開催されました。明智かえでホールで行われたモダンガール、モダンボーイを選ぶ「モガ・モボ大賞コンテスト」には34組が出場。来場者が投票して大賞などを選びました。

奥矢作湖恒例の桜祭りが最終回



串原の大野公園で4月14日、第25回奥矢作湖さくらまつりを開催。約1,200人の来場者は、カラオケ大会や宮路オサム歌謡ショーなどを満喫。桜が老木になり、花の付きが悪くなったため今年が最終回となりました。

ハンカチで鼻と口を覆い避難



三郷小学校で4月17日、命を守る訓練の一つの避難訓練を実施。火災発生時の放送が流れると、児童らはハンカチで鼻と口を覆い非常階段などから次々に避難。全校児童120人は、無事グラウンドに集合できました。